

運輸安全マネジメント

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

～安全運転は、ゆずるゆとりから（ゆずる文化）～

『輸送の安全の確保』の理念の下、当社においては安全運転心得5ヶ条を規定し、全社員に周知徹底、一丸となり取り組んでいます。

スローガン 安全運転心得5ヶ条の徹底でゆずる文化を実践しよう

2. 輸送の安全に関する目標

自動車事故報告規則に定めるところによる事故 0件
責任を有する事故件数 前年30%減

3. 自動車事故報告規則に規定する事故に関する統計

区分	転覆	転落	路外逸脱	火災	踏切	衝突	死傷	危険物等	車内	健康起因	車両故障	その他
件数	1			2								

4. 輸送に関する組織体制及び指揮命令系統

安全管理規定の運輸安全マネジメント組織図にて指揮命令を行っています。

5. 輸送の安全に関する重点施策

安全運転心得5ヶ条

～安全運転は、ゆずるゆとりから（ゆずる文化）～

- 第一条 社速80km・50km・30km
- 第二条 出発・帰着時点呼の完全実施
- 第三条 運行経路の確定・遵守
- 第四条 安全車間距離の確保
- 第五条 洗車および事前点検・車輛への挨拶の励行

6. 輸送の安全に関する計画

- (1) 点呼
運行管理者又は補助者が、対面点呼を確実に行う。
- (2) 過労運転防止
ドライバーの拘束時間が長くないか、休憩は取れているか。
- (3) 運行記録の管理
デジタコ、チャート紙を運行後の点呼で確認指導。
- (4) 事故防止研修会以外にも、ミーティング・標語ポスター等を作成して掲示する。
- (5) 事故事例の共有化、事故原因の究明等、社員全員に周知徹底する。
- (6) 適正診断の受講と診断結果の指導助言。
- (7) コミュニケーション
悩み事、不満、問題点などを話せる機会、聞く機会を作り、明るい職場を作る。
- (8) 配送先周辺での事故が多いことを全員に伝え、注意を喚起する。
- (9) コンプライアンス（法令遵守）を徹底する。
- (10) 防衛運転
周囲の状況を常に観察し、情報を入手、状況判断を適確に行い安全走行を目指す。

7. 輸送の安全に関する予算等

平成23年度予算項目

- 表彰規程による無事故表彰
- 外部研修機関への派遣
- 内部研修会関係（会場費・講師料等）
- 無事故キャンペーン

8. 事故・災害時等に関する報告連絡体制

安全管理規定の運輸安全マネジメント組織図により報告体制を構築しております。

9. 安全管理規定、安全統括管理者

(1) 安全管理規定（別紙）

(2) 安全統括管理者 栗谷 啓史 平成 18 年 10 月 1 日選任

10. 輸送の安全に関する教育及び研修の計画

(1) 人材育成のための教育

各関係機関開催の安全研修会参加

(2) 事故防止研修会の開催

全社員を対象に、年 2 回開催する。

11. 輸送の安全に関する内部監査結果およびそれを踏まえた措置内容

(1) 全社員への周知不足

部門内研修会での、方針・目標・計画の周知徹底。

(2) 記録・議事録の作成

意見交換・部門内協議・研修会は開催されているが、記録・議事録の作成が不十分。
ISO 教育訓練記録の活用を行う。

(3) 安全マネジメント担当者の選任と推進体制

各部門に安全マネジメント担当者を選任し、部門内の推進状況をチェックできる体制を構築する。

(4) 情報の共有化

事故事例の共有化、事故原因の究明等、社員全員に周知徹底する。

(5) 車両管理

車両ネームプレートの未装着があり、安全への責任者としての自覚向上に向け装着率 100%。